

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サクラサクいしえ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026/2/20（金）		2026/3/6（金）
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	13名	（回答者数） 11名
○従業者評価実施期間	2026/2/20（月）		2026/3/6（金）
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10名	（回答者数） 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2026/3/13（金）		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>・支援員と看護師による多職種の連携 支援員による子どもの発達や心理に関する知識と、看護師の医療的な知識を合わせて包括的な療育とケアが提供できる。また、体調面や育児に関する情報提供もできる。</p>	<p>・多職種によるカンファレンスとケース会議 医療的な見解や、障がい特性、発達段階等を情報共有し、参加者全員の意識変容と人間関係の向上に努めている。</p>	<p>・チーム間のフィードバック 多職種だからこそ気付ける多角的な視点から、その都度フィードバックし、建設的な意見交換をしながら改善策を出す。</p>
2	<p>・多様なお子さまとのかかわり 障がいのあるお子さまや、医療的ケアが必要なお子さまも一緒に過ごし、それぞれの個性を認め合うインクルーシブな環境。</p>	<p>・児発と放デイが一緒に過ごす機会を設定 朝の会や余暇の時間等、環境設定に留意しながら、一緒に過ごす時間をつくり、お互いを意識し尊重する機会をつくっている。</p>	<p>・長期休み時の集団活動の開催 それぞれの個性を活かせるよう集団での活動を提供し参加しながら、お互いを刺激し合い、コミュニケーションを楽しめる機会をつくる。</p>
3	<p>・急変時の対応能力 看護師が勤務している為、急変時に迅速で適切な対応が提供できる。それにより保護者様や支援員も安心してかかわり、見守ることができる。</p>	<p>・バイタル測定やその日の体調管理 看護師が子どもの状態を常にチェックし、発達の遅れや、健康上の問題を早期に発見し、適切な対応をしている。</p>	<p>・各関係機関とのつながり強化 各関係機関と連携し、必要時、情報共有をしながら、協力体制をつくっていく。</p>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>・地域の方々と交流する機会がない。</p>	<p>・利用児の特性上、地域の方々と交流するのが難しい。</p>	<p>・散歩や遠足等で交流する機会があったので継続し、外出の機会を増やしながら検討していく。</p>
2	<p>・保護者会や保護者様同士の交流の機会がない。</p>	<p>・保護者様からの要望があれば検討する。（現在のところ要望はない。）</p>	<p>・保護者様同士が交流できるような行事やイベントを考えていく。</p>
3	<p>・ホームページやSNSを活発に利用できていない。</p>	<p>・ICTの活用に対するメリット、デメリットの知識不足</p>	<p>・ICTを活用する為のスキルアップ。</p>